



岡島 政信 議員

Q・自主防災組織の人材育成・確保を

A・5人が防災士の資格を取得した



Q

現在、活火山の活動が活発になりだし、東南海地震は何時発生してもおかしくない状況にある。

昨年を振り返ると、町主催の総合防災訓練もレベルアップしながら進んでいる。各小学校区の自主防災会の訓練も同様に進んでいるようだ。

もし、地震が発生した場合、各防災会の活動がすぐ機能するか。

中長期の防災目標・行動計画はどのようになっているか。また、平成27年度施政方針の目標3の進捗状況は。安全・安心を実感できる町にするため、各自主防災組織の存在感も重要視され、活動もより意義のあるものにする必要がある。

自主防災組織の人材育成・確保等、町の考

A

えを聞く。

町が目指す中長期の防災行動計画として、第4次総合計画後期基本計画（5年間）と地域防災計画がある。

風水害、地震、航空機事故など本町で起こりうるあらゆる災害を想定し、町民の生命や財産の保護を図ることを目標としている。

4月の組織改革により防災安全課を創設し、従来、別々で担っていた消防・防災と防犯・交通安全の業務を一元化した。

災害時等の対応が迅速かつ効果的に取れるようになり、危機管理体制の強化が図られ

た。今後さらに、実践的な図上訓練や防災訓練などを実施し、災害対応能力の強化に努める。

自主防災組織リーダーの発掘・育成は不可欠。

平成25年度から防災士育成のため補助金制度を設け5人が資格を取得した。防災士を活用しながらリーダーを発掘・育成していきたい。



AEDの使い方を学ぶ